

「土屋家の刀剣」

大名家のおつき合い

期間
10月3日(金)～11月9日(日)

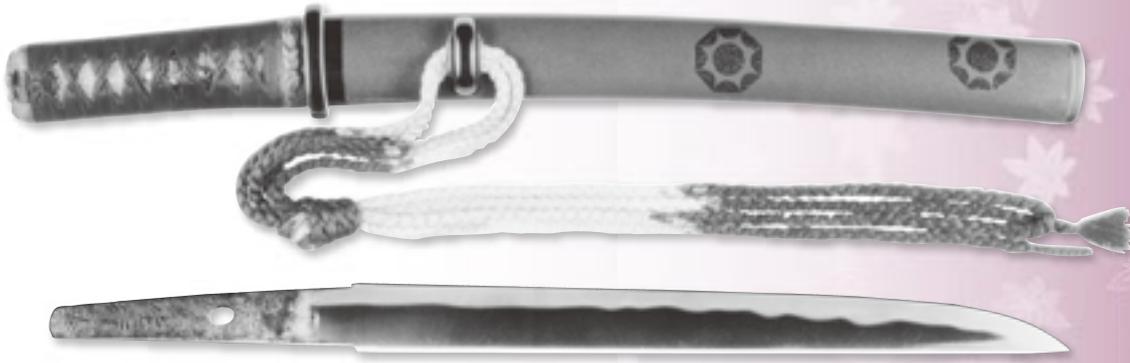
休館日：毎週月曜日(11月3日(月)を除く)、
10月14日(火)、11月4日(火)

土浦藩土屋家は11代続き、そのうち7人の藩主が奏者番を務めています。奏者番は、將軍に謁見する諸大名や旗本などの姓名や献上品の目録を披露したり、將軍からの下賜品の伝達を務めます。これら献上品や下賜品の多くは刀剣が主で、大名同士の贈答にも刀剣が主流を占めていました。

土屋家の刀剣台帳である「御腰物」には、37口の刀剣が他藩の大名家などから贈られたことが記されています。そのうち7口は「御隠居之節」と記載があり、二代藩主政直が老中を隠居した際に、ほかの大名家から贈られたものであることが分かっています。また、「御遺物」と記載されているものが6口あり、土屋家と親しい交流があった大名家の遺品として贈られてきた刀剣もあります。

一方、土屋家から他家に贈った刀剣は4口みられます。大名家の刀剣は、メッセージを伝え、両家の結びつきを強固なものとする象徴として、最も重要なアイテムだったといえます。

このたびは、現存する土屋家刀剣の中から、各藩の大名家などから贈られた刀剣17口を展示公開し、大名土屋家の交流の一端をご紹介します。



▲国宝「筑州住行弘」
土浦藩土屋家2代藩主政直の正室幾宇子の父、松平若狭守(丹波篠山藩初代藩主)の名で、篠山藩4代藩主信庸から贈られました

□主な展示品

- 「筑州住行弘」(国宝)：松平若狭守(丹波国篠山藩五万石)
- 「信房」(重要文化財)：松平新太郎(備前国岡山藩三十一万五千石)
- 「恒次」(重要文化財)：水戸少将(常陸国水戸藩二十八万石)
- 「景安」(重要美術品)：水野石見守(伏見奉行五千石)
- 無銘(貞清)：佐竹大膳大夫(出羽国秋田藩二十万五千石)
- 無銘(包平)：松平美濃守(甲斐国甲府藩十五万一千石)
- 無銘(景光)：間部越前守(上野国高崎藩五万石)
- 無銘(三原)：松平伊予守(伊予国今治藩三万五千石)
- 無銘(左吉貞)：松平出羽守(上野国館林藩五万四千石)
- 「越前守源信吉」：太田備後守(遠江国掛川藩五万石)
- 「山城大掾藤原國包」：松平政千代(陸奥仙台藩六十二万石)
- 無銘(葵紋崩し)：水戸様(常陸国水戸藩三十五万石)
- ※国宝・重要文化財の公開は、10月28日(火)から11月9日(日)まで

□学芸員による展示解説

とき／10月18日(土)：午後2時から、11月1日(土)：午後1時から

□抹茶の無料接待(2階展示ホール)

- とき・参加校／
- 10月5日(日)、12日(日)：土浦二高茶道部
- 10月18日(土)：つくば国際大高茶道部
- ※いずれも時間は、午後1時から3時まで
- 定員／各回50人(先着順)

開館時間／午前9時～午後4時30分

入館料／一般105円(75円)、小・中・高校生50円(30円)

※()内は20人以上の団体のとき

※毎週土曜日は小・中・高校生の入館無料

★11月1日(土)から9日(日)は、「国民文化祭」開催期間中のため入館無料

岡市立博物館 (☎824・2928)